

研究課題	コミュニティ・スクールの取り組みを中心とした教育活動の発信
副題	～地域のよさを知り、未来への夢を広げる地域学習の創造～
キーワード	コミュニティ・スクール・情報発信・地域との交流
学校/団体名	公立三木町立白山小学校
所在地	〒761-0704 香川県木田郡三木町下高岡 352-1
ホームページ	<a href="http://www.hakuzansyo.com/index.html">http://www.hakuzansyo.com/index.html</a>

## 1. 研究の背景

本校では14年前より学校運営協議会を設置した「コミュニティ・スクール」として、学校・地域・家庭が一体となった教育活動を行っている。香川県下では先進的な取り組みをしており、保護者や地域の方々が「スクールサポーター（はくざんっ子サポーター）」として児童の学習や活動を応援する取り組みが充実している。また、地域（人・もの・こと）から学ぶ学習を通して、地域を大切に作る心を育てている。令和5年度には、本校の取り組みを高松市校長研修会で実践報告を行った。また県下自治体（東かがわ市等）からの先進校視察を受け入れた。

5年度の研究助成を受け、「学校・地域・家庭が一体となった教育活動の推進」のテーマのもと、昨年度から様々な実践を進めてきた。また、令和8年度に四国地区放送教育研究大会を本校が会場校となり行う予定であり、研究大会に向けて、今年度より①一人一台タブレットの活用についての研究（ロイロノート）、②NHK for SCHOOL等の放送番組を活用した学習の研究、③オンラインによる遠隔学習の研究を行っていく予定である。5年度・6年度の研究助成を受けて進めてきた取り組みを2年後の大会に向けて発展させていきたいと考えている。

## 2. 研究の目的

白山小学校が14年前より取り組んできた「コミュニティ・スクール」の取り組みを香川県・全国に情報発信し紹介するとともに、5年度に助成を受け進めてきた取り組みをさらに充実させる。香川県下ではコミュニティ・スクールの先進的な取り組みを積極的に情報発信することにより、文部科学省が進めている学校と地域との連携・協働による「社会に開かれた教育課程」のモデル校としての役割を担う。

白山（はくざん）校区のよさ、三木町の魅力を地域・香川県・世界に発信する活動を行ったり、三木町内4小学校でオンライン交流しながら学習を進めたりすることにより、児童の情報活用能力・情報発信力を高める。

白山小学校コミュニティ・スクールの大きなねらい1つである「スクールサポーター」の教育活動への協力について、行政機関・社会教育施設・各種団体（観光協会）を取り込み、ネットワークを広げる。その際、オンラインによる交流やオンラインによる共同授業の機器操作をサポートできる人材についても依頼する。

### 3. 研究の経過

(1)先進的なコミュニティ・スクールの取り組みを香川県・全国に情報発信する。

- ①学校HP「コミュニティ・スクールだより」でコミュニティ・スクールの理念や推進状況を公開する。
- ②学校ブログでの具体的な取り組みを紹介する。
- ③オンライン研修会を開催しての積極的な情報発信をする。
- ④研究会での積極的な情報提供、学校視察の受け入れを行う。

(2) 県内外、国内外の学校や教育施設とオンラインで交流し、児童の社会的な視野を広げる。

- ①三木町が姉妹都市協定を結んでいるカナダディズベリー町、北海道七飯町の小学校とのオンラインによる交流を学年ごとに定期的に行う。
- ②令和4年度に始まった台湾の小学校との交流を4年生「はくざんっ子学習（総合）」のテーマ「国際理解」の中で、日本文化を伝えること、外国の文化を知ることの主活動とする。また、外国語活動で学んだことを発表する場とする。
- ③5年生「英語科」において、台湾の小学生と交流する。
- ④三木町のキラリを見つけよう」、6年生「三木町の偉人から生き方を学ぼう」で発表資料（動画）をまとめる。
- ⑤三木町内の小学校4校とのオンライン交流授業を計画し、実践する。
- ⑤令和8年度に予定されている「四国地区放送教育研究大会」に向けて、三木町内4つの小学校と三木中学校で研究推進委員会を開き、研究の方針を決定する。

### 4. 代表的な実践

(1) 5月

①6年生総合的な学習「はくざんっ子学習」での台湾泰安小学校との交流

5月14日に6年生がはくざんっ子学習で、台湾の小学校「泰安小学校」とオンライン交流学習をした。交流のテーマは「自分の生き方をみつけよう」で、台湾の子どもたちと「なりたい自分（将来の夢）」や「めざしている人（目標）」について発表し合った。白山小6年生は昨年から台湾の泰安小学校と外国語の学習で交流してきたので、共通の言語「英語」を使っでの交流となった。子どもたちは、台湾の小学生の考えや将来への思いを知ることができた。



②山形県天童市議会議員団の視察

5月20日に山形県天童市議会視察団12名（市議会議員・教育委員会・議会事務局）が

優良町視察として、三木町に来た。視察団が三木町に来て、学びたかった一つが「コミュニティ・スクール」の取り組みについてであったため、校長が本校のコミュニティ・スクールの14年間の取り組みを報告した。天童市は、今年度より本格的にコミュニティ・スクールの取り組みを進めるということで、大変参考になったとの感謝の言葉をいただいた。



(2) 6月

①ようこそSENPAI

白山小学校では、コミュニティ・スクール「わくわく学習部会」の活動として、白山小を卒業して社会で活躍している方を講師にお招きし、お話を聞く「ようこそSENPAI」を行っている。6月18日に、イラストレーターの寒川優子さんが、母校である白山小学校に帰ってきて、小中学校の思い出や、イラストレーターを目指した経緯、仕事内容などをお話してくれた。子どもたちには、「とりあえず、試してやってみる。失敗をしても学んで成長してほしい。」また、「食生活の大切さと小学校の勉強はすべてにおいて基礎になるので頑張してほしい。」とメッセージをいただいた。最後に寒川さんに子どもたちからの質問に答えてもらったり、イラストを商品化されたものを見せてくれたりし、寒川さんの仕事の一部を知ることができた。

昨年度に保護者や地域の方から、ぜひ、この催しに参加したいとの要望があったため、今年度もオンライン配信をすることにした。たくさんの保護者や地域の方がZOOMによる視聴で参加してくれた。



②米づくりチャレンジ (食育学習)

6月25日に2年生が小雨の中、おやじ・おふくろの会の皆さんとJAの職員の方に教えてもらって田植えをした。ロープの目印に沿って苗を植えていく仕方を教わり、最初は、ぬかるみに足を取られて思うように動くこともできなかった子どもたちも、サポーターの皆

さんにコツを教わると泥んこになりながらも少しずつ上手にできるようになった。今年の銘柄は「あきさかり」。収穫する秋まで生長の様子や子どもたちの関わりについて、「田んぼ日記」にまとめ、発信する。11月には収穫したお米を「おにぎり給食」で全校生が食べることができた。



(3) 7月・9月

① 3年生の実践「三木町のきらりをみつけよう」

3年生は、社会科の学習で、「働く人々の工夫」について学んだ。7月には、校区にあるうどん工場「藤井製麺」を訪問し、会社の方から工場働く人々の工夫や、製造工程などの説明、店舗の見学などをした。また、9月には、「スーパーマルナカ三木店」を訪問し、店内や商品加工などの見学をして、スーパーマーケットの仕事についてお話をお聞きしました。自分たちの校区・町には、いろいろな産業があり、自分たちの生活を支えてくれていることを再確認する地域探検になりました。3年生は1年間を通して、社会科で学んだことやくざんっ子学習「三木町のきらりをみつけよう」で調べたことをロイロノートでまとめ、保護者や地域の方に発信してきた。



② すくすく健康部会の歯科授業

白山小学校では、蓮井歯科・ファミリークリニックの蓮井先生、歯科衛生士の皆さんと歯の健康を考える学習を学年ごとのテーマに沿って行っている。6年間を通じての歯科授業で子どもたちの歯の健康が守られている。1年生の歯科授業では、歯の王様と言われている「6さいきゅう歯」の大切さや正しい歯磨きの仕方「クール法」を教わった。子どもたちは歯科衛生士さんたちに教えてもらいながらいねいに歯磨きをしていた。この歯科授業の内容については、学校保健委員会や地域の懇談会「白山校区はぐくみ会議」で情報発信し、保護者や地域の方と共有している。



(4) 10月

①台湾の泰安小学校との英語学習

10月24日(木)、5年生が「英語」の授業の発展として、台湾の泰安小学校とオンラインで交流しながらの「英語学習」をした。学習内容は、「自分の誕生日を紹介しよう」の発展学習であった。オリエンテーションとして、学校や校区の紹介をした後、英語での交流がはじまった。まず、白山小から1人ずつ、自分の誕生日と誕生日にプレゼントでほしいものを発表した。その後で、泰安小学校の子どもたちの発表を聞いた。2年前から定期的に交流している「泰安小学校」との学習だが、学んだ英語を活用できる機会になっていて、子どもたちの積極的な英語表現へのモチベーションとなっている。



②香川県小学校教育研究会「メディア教育部会」での提案発表

令和5.6年度パナソニック教育財団から研究助成を受けて取り組んできた実践内容について、11月に行われた「香小研メディア教育部会研修会」で提案報告した。



(5) 11月

①4年生台湾義守大学の学生さんとの交流（国際理解）

4年生のはくざんっ子学習（総合的な学習の時間）は、国際理解をテーマに学習を進めてきた。11月27日(水)、「台湾の文化を学ぼう」ということで、台湾義守大学の日本語学科の学生さんとオンライン交流をした。台湾の学生さんから、台湾の食文化や伝統的な行事「中秋節」や「台湾の夜市」について紹介してもらった。また、お互いの国の文化や好きな食べ物、遊びなどについて質問したり、答えたりして交流した。子どもたちは、オンライン交流で学生さんたちから直接お話を聞き、台湾の魅力を知る貴重な時間になった。



②校区ふれあい奉仕活動

白山小学校では、11月19日に「校区ふれあい奉仕活動」を行った。校区内のお寺や神社、各施設を訪問し、それぞれの場所のお話を聞き、その後清掃をしました。子どもたちは、老人会や、民生委員、保護者、地域の方々などたくさんのサポーターさんとふれあいながら一生懸命に活動した。いろいろな方との交流も深まり、地域のことを知る良い経験となった。この活動については、HPやブログで保護者や地域の方にくわしく情報発信した。



(6) 12月

①4. 5年生天文教室

12月17日(火)、4年生の5年生が天文教室を行った。天文教室を開いてくれたのは、「京都大学天文アウトリーチ学生団体『あすちか』」という団体で三木町出身(田中小卒業生)のメンバーが在籍することから、白山小学校で行ってくれることとなった「宇宙シアター」「太陽観察」「天体工作」など楽しい活動があった。夜には、天文教室の番外編として、4.5年生と保護者の希望者が参加する「ほしぞら教室(観望会)」が開かれた。この催しは、京都大学天文アウトリーチ学生団体「あすちか」主催で、天体望遠鏡博物館(さぬき市)・京都大学大学院理学研究科宇宙物理学教室・京都大学大学院理学研究科附属天文台の協賛と後援で行われ、それぞれの団体から情報発信されたり、ローカルニュースで紹介されたりした。



②人権を考える会

12月9日(土)、「人権を考える会」を行った。白山小学校では11月を「人権特別月間」として、人権尊重の気持ちを高める様々な取り組みを行ってきた。この「人権を考える会」は、その成果を発表し、保護者の皆さんや、地域の方と共有するために毎年行われている。この取り組みも昨年度から、保護者や地域の方に情報発信している。



(7) 1月

①三木町内田中小学校とのオンライン学習（外国語）

1月15日（水）、4年生の外国語活動の時間です。三木町内の田中小学校の4年生とオンラインでの交流学习を行った。学習の内容は、「my favorite place（お気に入りの場所）」について紹介しようという学習だった。「my favorite place is class room.」「my favorite place is gym.」「my favorite place is music room.」など相手を意識して発表した。ただ発表するだけでなく、「nice!」「me,too.」「great!」などの反応の練習もした。白山小も田中小も4年生は1学年1学級のため、クラスを超えての交流ができないという現状がある。このようにオンラインで交流しながら相手意識をもった学習ができてよかった。



(8) 2月

①ありがとう集会

白山小学校では、お世話になっているサポーターの方々をお招きして感謝の気持ちを伝えるありがとう集会を例年行っている。今年度は90名を超えるサポーターの方々に参加してくれた。スライドでは、サポーターの皆さんと活動した1年間の楽しい思い出を振り返った。子どもたちは、サポーターさんたちへの感謝の気持ちを改めて確認し、お世話になった方々に、お礼の言葉を伝えて、プレゼントを贈呈した。最後に歌のプレゼント「ふるさとのいろ」を心を込めて歌った。サポーターさんの代表の方々からは、これからも子どもたちのためにサポートしていきたいと心強いお言葉をいただいた。

この「ありがとう集会」の様子もオンラインによる情報発信をするとともに、期間限定で動画サイト（YouTube）によるオンデマンド配信を行った。



## ②CO2CO2運動（CO2CO2削減コンテスト in 香川）

白山小学校では、数年前から全校の取り組みとして「CO2CO2運動」に取り組んでおり、コミュニティ・スクール活動の一環として、家庭や地域を巻き込んだ活動に広げている。今年度も、この活動の成果を報告する場所として、毎年「香川県地球温暖化防止活動推進センター（せとecoかがわ）」が主催するコンテストに応募した。児童運営委員会とピカピカ委員会が中心になり、地域にも声をかけてアルミ缶や牛乳パックを集める取り組みが認められ、今年度は2位に当たる「優秀賞」を受賞した。

この「CO2CO2運動」の様子についても、学校HPや学校ブログで随時紹介している他、子どもたちから協力を呼びかける動画を配信している。また、「せとecoかがわ」の取材した動画の視聴を保護者や地域の方に呼びかけてきた。

## 5. 研究の成果

### （1）積極的な情報発信

令和5年度、6年度と2年連続で研究助成を受けることができ、継続的な研究に取り組むことができた。14年間続いているコミュニティ・スクール行事については、内容の充実とともに外部への発信という面において、力を入れてきた。学校HP、学校ブログ、動画配信などを積極的に行い、「社会に開かれた教育課程」の取り組みとして、香川県の先進校としての役割を果たせた。

### （2）令和8年度四国地区放送教育研究大会に向けて

令和8年度に予定されている「四国地区放送教育研究大会」に向けて三木町内小学校4校と三木中学校で共同研究を行う準備を整えることができた。運営の主体となる香川県メディア教育研究協議会を主体とした「運営委員会」、実践の中心となる三木町小中学校教育研究会を主体とする「実行委員会」を立ち上げ、2年後に向けての研究方針と研究内容について決定したことは成果として上げられる。「情報活用能力を発揮し、一人ひとりがよりよい社会を創造できる放送・メディア教育を推進しよう」を小中学校の共通テーマに、7年度・8年度で研究を深めていく予定である。

## 6. 今後の課題・展望

2年後の令和8年度に白山小学校を含む三木町内の小中学校5校で、四国地区放送教育研究大会が開かれる予定である。研究の分科会として、①「NHK for SCHOOL」等を活用した授業研究、②タブレットのICTを有効利活用した授業研究、③他の学校や外部とのオンライン交流を中心とした授業研究を三本柱に、各小中学校で共同研究を行っていく予定である。その中でも白山小学校はこれまでの研究助成を受けての実践を活かし、三木町小学校4校での合同授業や外国や他県の学校とのオンライン授業を提案していきたいと考えている。また、小中学校が連携した取り組みや実践交流についても考えていきたい。小中の教員間での、ロイロノートの活用、児童生徒のリテラシーの共有、情報モラル教育の系統性などの研究にも取り組みたいと考えている。



## 7. おわりに

GIGA スクール構想によって一人1台端末（タブレット等）が学校に導入されてから5年後となる令和8年に放送教育研究会を本校で開くことに大きな意義を感じている。昨年度と今年度、2年連続でパナソニック教育財団の助成によって、様々な新しいことに挑戦できたこと、研修会や研究会にも積極的に参加し先進事例を知ることもできたことにより、令和8年に向けての展望が開けた。本校は長年に渡って取り組んできたコミュニティ・スクールの取り組みについても、この2年間でますます深めることができたと感じている。

## 8. 参考文献

- 令和6年度香川県小学校教育研究会メディア教育部会夏季研修会 研究要項
- 第50回放送教育研究会四国大会 香川大会 研究紀要
- 第53回放送教育研究会四国大会 愛媛大会 大会要項